

山行報告書

作成: 2006年9月7日
愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	奥穂高～西穂高	目的[方法]	ジャンダルム
期間	8月2日(火)～8月3日(水)	形態	小屋泊
参加人数	3人		

行動記録:

◇ 8/2(火) 曇時々雨

新穂高ロープウェイ(0630) -- 1:30--白出沢コース分岐(0800) --5:00--穂高岳山荘(1300)

◇ 8/3(水) 晴のち雨

穂高岳山荘(0500) --0:45--奥穂高岳山頂(0540,0600) --1:00--ジャンダルム(0700,0730) --0:15--天狗ノ頭(0900)
--1:30--西穂高岳(1030) --1:30--西穂山荘(1200,1300) --1:00--新穂高ロープウェイ(1400)

概念図:



日誌:

新穂高ロープウェイ駐車場で前夜泊。この時点で雨が降っていた。

2日朝、6時に起床すると雨は上がっていて晴れ間もうかがえた。朝食をとり6時半に出発。林道を快調に歩き、白出沢の分岐点に到着したのは8時頃、特に休憩は取らずしばらく歩き、最終の水場で休憩をとる。その後、穂高岳山荘から降りてきたパーティーに出会い、雪渓が100mほど残っている情報を得る。(このパーティーは軽アイゼンなしで降りてきたらしい) 雪渓に到着したのは10時頃、軽アイゼンを装着して登る。(この辺りでけっこう疲れを感じてきた) それからはダラダラと急登が続く。ガスが濃くて先が見えなく、雨も降ってくる始末でけっこうしんどかった。穂高岳山荘に到着したのは13時頃、その後の天気は雨で明日への不安を残し就寝。

3日目。雨は上がりご来光を拝むこともできた。岩は若干湿っていたが太陽があれば乾くと判断。ジャンダルム行きを決定した。山荘を出発し、奥穂高岳からジャンダルムへ向かったのは6時頃。この頃には岩は乾いていた。(日陰はまだ湿っぽかった) 順調に岩場を進み、ジャンダルムに到着したのは7時頃だった。展望は360度を見渡せ、笠ヶ岳がとても綺麗だった。このまま何時間でもこの場所で過ごせそうなくらい気持ち良かったが、それは叶わず出発。それから4時間近く岩場を進み西穂高岳山頂に到着したのは10時半頃、この時点で少し雨がぱらついてきたがそれ以上は崩れることなく西穂山荘到着。昼食をとり出発し、14時頃にはロープウェイ乗場に到着した。

感想:

久しぶりの山小屋であったが、のんびりと人間模様を観察するのを楽しめた。

ジャンダルムはNHKの「金とく」を見てからずっと行きたかった場所。心配だった天気ももってくれ、最高の展望を味わうことができ大満足。岩場は特にロープを出す必要性は感じなかったが、天気しだいでは慎重な判断が必要。(前日に西穂側からきたパーティーは途中で雨になってしまい、かなり危険だったと言っていた)

やはり山登りには入念な準備と、慎重な判断力が大切であると感じた。